NUBIC知的財產情報開示

開示日: 2006年6月8日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。 尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

表 題 複数の阻止域可変FIRフィルタの設計法 情報・通信 電気・電子 電点・電子 電点・電子 電点・電子 電点・電子 電点・の高精度にデーター処理や計測処理を行う方法 ノイズの発生源となる複数の周波数帯域を瞬時に、かつ、任意に可変することにより効率よくノイズを取り除くフィルタの構造と設計法の提供。 位来は主要なノイズ発生源が変化するたびにフィルタを設計し直す必要があったが、本発明は任意に複数の阻止域を可変にすることが可能なため、ノイズ発生源が複数個存在してもノイズを吸り除くために必要なフィルタの次数が削減され、効率よくノイズを低減し、高速かつ高精度なフィルタリンクが可能である。 技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申し込みください。(FAX、e-mail、郵送いずれでも可。) 各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。 面談希望日時 (34)が第 氏 名 会社名 所 属 電話番号 日本記書を表します。 日本記書を表しまずます。 日本記書を表します。 日本記書を					NUBIC管理番号	2005000063
適応製品 高速かつ高精度にデーター処理や計測処理を行う方法 目 的	表題	複数の阻止域で	可変FIRフィルタ	の設計法		
日 的	技術分野	情報•通信	電気・電子			
技術概要 従来は主要なノイズ発生源が変化するたびにフィルタを設計し直す必要があったが、本発明は任意に複数の阻止域を可変にすることが可能なため、ノイズ発生源が複数個存在してもノイズを取り除くために必要なフィルタの次数が削減され、効率よくノイズを低減し、高速かつ高精度なフィルタリングが可能である。	適応製品	高速かつ高精度	まにデーター処理	里や計測処理を	行う方法	
明は任意に複数の阻止域を可変にすることが可能なため、ノイズ発生源が複数個存在してもノイズを取り除くために必要なフィルタの次数が削減され、効率よくノイズを低減し、高速かつ高精度なフィルタリングが可能である。 整理番号	目的	ノイズの発生源 くノイズを取り除	となる複数の周波 くフィルタの構造	皮数帯域を瞬時 と設計法の提供	に、かつ、任意にī 共。	可変することにより効率よ
技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申し込みください。 (FAX、e-mail、郵送いずれでも可。) 各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。 面談希望日時 (ふりがな) 氏 名 会社名 所属 では、一般	技術概要	明は任意に複数 もノイズを取り除	数の阻止域を可変 くために必要な	変にすることが豆 フィルタの次数フ	「能なため、ノイズ	発生源が複数個存在して
技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申し込みください。 (FAX、e-mail、郵送いずれでも可。) 各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。 面談希望日時 (ふりがな) 氏 名 会社名 所属 では、一般						
(FAX、e-mail、郵送いずれでも可。) 各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。 面談希望日時 (ふりがな) 氏 名 会社名 所属 役職 電話番号 FAX番号 E-mail	整理番号	10906		担当者	: 斎藤 光史	
所 属	(FAX、e-m 各担当コー 面談希望日町 (ふりが	nail、郵送いずれ ディネーターか 寺 な)	でも可。)		本用紙にてお申し返	込みください。
電話番号 FAX番号 E-mail	会社名	1			'	
E-mail	所 属	न न			役 職	
	電話番号	7		FAX番号		
連絡事項	E-mai	il				
	連絡事項					



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館 TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp